

平成二十八年 度

適性検査Ⅰ

9 : 0 0

）

9 : 4 5

〔注 意〕

- 1 問題は①だけで、問題1から問題3まであり、一ページから十八ページにわたって印刷してあります。ページの抜け、白紙、印刷の重なりや不鮮明な部分などがないかを確認してください。
- 2 あった場合は手をあげて監督の先生の指示にしたがってください。
- 3 解答用紙は二枚あります。受検番号と氏名をそれぞれの決められた場所に記入してください。
- 4 声を出して読むではいけません。
- 5 答えはすべて解答用紙に記入し、解答用紙を二枚とも提出してください。
- 6 字ははつきりと書き、答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。

横浜市立南高等学校附属中学校

1

みなみさんは、「和食」に興味を持って調べています。みなみさんが集めた次の【ア】【イ】【ウ】の資料を読
んで、あとの問題に答えなさい。

【ア】食文化史研究家が和食について書いた文章

省略

省略

省略

省略

〔注〕

- ※1 モンsoon．．．日本やアジアなどで夏は海から大陸へ、冬は大陸から海へ向かってふく季節風。
- ※2 嗜好性^{しこうせい}．．．飲食物などに対する好みの傾向^{けいこう}。
- ※3 酵素．．．生物のからだの中でつくられ、体内での化学反応を助けるはたらきをする物質。
- ※4 芳醇^{ほうじゅん}．．．かおりが高く、味わい豊かであるようす。
- ※5 魅了する^{めりょうする}．．．人の心をひきつけて、すっかりむちゅうにさせる。

【イ】調理師専門学校の先生が和食について書いた文章

省略

省略

省略

〔注〕

- ※6 潮流ちようりゆう・ ・ ・ ・ ・世の中の動きや、ものごとの進む方向。
- ※7 老舗しにせ・ ・ ・ ・ ・昔からその商売を長く続けている有名な店。
- ※8 杞憂きゆう・ ・ ・ ・ ・必要のない心配をすること。

※ 9 危^き惧^ぐを^い抱^だく・・・悪い結果になるのではないかと心配する。

※ 10 前菜・・・・・食事の最初に出す軽い料理。オードブルともいう。

省略

省略

省略

省略

「注」

- ※ 11 よすが・・・てがかりとなるもの。
- ※ 12 平素^{へいそ}・・・ふだん。ひごろ。
- ※ 13 克己^{こつき}心^{しん}・・・自分のなまけごろや欲望^{よくぼう}にうちかとうとする気持ち。

問題 1 みなみさんが集めた資料【ア】【イ】【ウ】を説明したものとして最も適切なものを、次の 1 から 4 の中か

らそれぞれ一つ選び、番号を書きなさい。

- 1 この文章は、事実や科学的な根拠こんきよにもとづいて話を進めることで、内容に説得力をもたせている。
- 2 この文章は、アンケートの結果や具体的な数値すうちを用いることで、読み手の興味を引き出している。
- 3 この文章は、他者と意見を交かわすことで、テーマについて互たがいに考えを広げたり深めたりしている。
- 4 この文章は、国際的な視野から複数の例を挙げることで、筆者の考えをわかりやすく説明している。

問題2 みなみさんは【ア】【イ】【ウ】の資料を読みながら、メモを作りました。次の1から12は、どの資料を読
んで書いたものですか。最も適切なものを、それぞれ一つ選び、資料【ア】の内容ならばア、【イ】の内容
ならばイ、【ウ】の内容ならばウの記号を書きなさい。ただし、【ア】【イ】【ウ】の内容とてらして誤り^{あやま}があ
る場合は×を書きなさい。

1 「日常的に和食を食べたい」という世界的な流れの中で、ニューヨークではラーメンが日本国内と同じように
単品料理として人気があると述べている。

2 和食が異文化^{いぶんか}の中で発展^{はってん}していることに気付かないと、いつか日本国内の和食の方が、世界の流れから置いて
いかれるのではないかと述べている。

3 自然界から微生物^{びせいぶつ}をとり込んで発酵^{はっこう}食品をつくってきた歴史は古く、奈良^{なら}時代にはすでにカビを利用して酒を
つくっていたと述べている。

4 世界の料理人にとって、素材に次々に味付けを重ねて料理していく日本人の美学、美意識との出会いは大きな
発見だったと述べている。

5 日本の食文化について、忙しさ^{いそが}から解放された祖父母の世代から、子供^{こども}たちに伝統^{けいしやう}を継承^{けいしょう}していくべきだと述
べている。

- 6 世界で認識にんしきされている味は、塩味、甘味かんみ、酸味、苦味であるが、最近の研究で、「うま味み」が加わったと述べている。
- 7 現在、日本人全体が忙しい生活をしているため、時間をかけて美味おいしいものを作ったり、正しい食のあり方を考えたりする余裕よゆうがないと述べている。
- 8 カツオ節は油分を徹底的てつていてきに取り除いた結果、うま味成分ぎようしゆくが凝縮されて、美味おいしい出汁だしが取れるのだと述べている。
- 9 世界で提供ていきようされる和食は、その土地の食文化に合わせて工夫されながら、全体的には和食という枠組みわくぐみから外れていないと述べている。
- 10 日本人は、高温多湿たしつという気候条件が生み出したカビとうまく共存きようぞんし、食文化を豊かにしてきたと述べている。
- 11 元来、日本人は一年の中で最も困難こんなんな夏を乗り越えるこために、美味しさよりも健康であることを優先ゆうせんして食べるものを選んでいると述べている。
- 12 ある国の文学が異文化の中で受け入れられるには、それが生まれた国の風土や習慣、考え方や歴史をよく知っている翻訳家ほんやくかの存在そんざいが欠かせないと述べている。

問題3 【ア】【イ】【ウ】から一つの資料を選んで、それをもとに二つの文章を書きなさい。一つは【資料が伝え

ていることを短くまとめる文章】、もう一つは【資料の内容について自分が考えたことをまとめる文章】です。

次の「条件」と「注意事項」にしたがって書きなさい。

「条件」

○選んだ資料をア、イ、ウの記号で書くこと。

○【資料が伝えていることを短くまとめる文章】は、三百字以上三百五十字以内で書くこと。

○【資料の内容について自分が考えたことをまとめる文章】は、自分がこれまで学習したことや体験したことと関連させて二百字以上二百五十字以内で書くこと。

○複数の段落をつくって、文章全体を構成すること。

「注意事項」

○題名は書きません。一行目、一マス下げたところから書くこと。

○原稿用紙の適切な書き方にしたがって書くこと。（ただし、解答用紙は一行二十マスではありません。）

○文字やかなづかいなどに気をつけて、漢字を適切に使い、丁寧（ていねい）に書くこと。

このページには問題は印刷されていません。

適性検査Ⅰ 解答用紙

1

問題 1	
	【ア】
	【イ】
	【ウ】

問題 2			
	7		1
	8		2
	9		3
	10		4
	11		5
	12		6

【 】はつけなくてもよい

受検番号
氏 名

※には何も記入しないこと

※

※

※

適性検査Ⅰ 解答用紙

※には何も記入しないこと

問題3

選んだ資料の記号

()

受検番号

氏 名

※

【資料が伝えていることを短くまとめる文章】

【資料の内容について
自分が考えたことをまとめる文章】

300

350

200

250

※
1

※
2

※

※
3

※

※
4

※
5

※

適性検査Ⅰ 解答

※には何も記入しないこと。

受検番号
氏 名

1

問 題 1	
1	ア
4	イ
3	ウ

問 題 2			
ウ	7	×	1
×	8	イ	2
イ	9	ア	3
ア	10	×	4
×	11	ウ	5
イ	12	ア	6

「」はつけなくてもよい

※
48

※
12

※
60

適性検査Ⅰ 解答用紙

問題 3

選んだ資料の記号

「 」

受検番号

氏 名

資料が伝えていることを短くまとめる文章

資料の内容について
自分が考えたことをまとめる文章

※には何も記入しないこと。

350

300

省略

250

200

省略

※
1

※
2

※

※
3

※

※
4

※
5

※